

# S.ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領とのビジネスミーティング 発言メモ

- ◇日時：令和7年(2025年)4月15日(火) 17:00～18:40(署名式18:15～18:40)
- ◇会場：帝国ホテル東京 タワー館中2階 光の間
- ◇主催：(一社)ROTOBO、日本トルクメニスタン経済委員会

## ◇主賓：

S. ベルディムハメドフ	トルクメニスタン大統領
R. メレドフ	トルクメニスタン副首相兼外務大臣／ トルクメニスタン日本経済委員会会長
B. アンナマムメドフ	トルクメニスタン副首相(建設・工業・電力担当)
N. アタグリエフ	トルクメニスタン副首相(商業・繊維産業担当)
B. セイドヴァ	トルクメニスタン副首相(文化・メディア担当)
M. チャクイエフ	トルクメニスタン閣僚会議付属運輸・通信庁長官
D. オラゾフ	アルカダグ市建設国家委員会議長
A. サパロフ	トルクメニスタンエネルギー大臣
A. シャムィラドフ	トルクメニスタン文化大臣
D. サプバエフ	トルクメニスタン国営コンツェルン「トルクメンヒミヤ」総裁
R. ジェプバロフ	トルクメニスタン国立対外経済関係銀行総裁
D. ゲンジエフ	トルクメニスタン水利国家委員会議長
A. バイラモフ	駐日トルクメニスタン特命全権大使
M. グルドフ	トルクメニスタン商工会議所会頭
G. メジロフ	オグズハン記念トルクメニスタン工業大学学長
G. ユスポヴァ	トルクメニスタン外務省付属国際関係大学学長
M. チャリエフ	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学学長
G. ベルディエヴァ	通訳官

- ◇日本側参加者： 日本トルクメニスタン経済委員会会員企業を中心に23名、  
その他パートナー企業(トルコ企業)より7名

## ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領発言要旨

### ●日本との関係

- ・ トルクメニスタンと日本は信頼と相互利益に基づいた協力を行っている。過去数年間にわたり、協力関係のさらなる発展に向けた強固な基盤が築かれた。
- ・ 日本は先進技術、イノベーション、経済・環境戦略の発展で模範となる国。日本の科学や産業における成果、独自の経営管理(マネジメントプラクティス)はトルクメニスタンにとって非常に重要。

### ●トルクメニスタン経済と投資の可能性

- ・ トルクメニスタン経済には長期投資のための可能性がある。「政治的安定」、「持続可能な経済成長率」、「広範な資源基盤」、「構造改革と革新的な成長に対する政府の支援」、「好適な投資環境」といった基本的な条件が整っている。
- ・ 近年のGDP成長率は6%以上で安定しており、今後数年間でGDP成長率は6.3～8.3%になると予想されている。
- ・ 民間投資が国家経済の成長と発展の主な柱になっている。毎年、トルクメニスタン経済への投資額はGDPの40%以上に相当、外国投資の割合は全体の15%に達している。

- ・ 総投資額の60%（注：先方通訳発言ママ）以上を製造業に向けることで、産業とイノベーションの成長に向けた戦略的方向性が確保されている。これにより経済構造を変革し、製造業を根本的に近代化することが可能となる。
- ・ 金融機関における重要な改革も進められている。対外経済活動の開放政策が一貫して確実に実施されている。

#### ●日本との協力プロジェクト

- ・ 現在、トルクメニスタンでは日本企業が参加する44件の投資プロジェクトが登録されている。総額は約110億ドルと約2億5,600万ユーロ、そして1,900億円を超える。
- ・ 日本の大企業による長期にわたるトルクメニスタンでの活動を高く評価している。伊藤忠商事、川崎重工業、三菱商事、双日、東洋エンジニアリング、三井物産、住友商事など多くの日本企業がトルクメニスタンの経済発展に貢献してきた。
- ・ 近年、日本企業の参加によりトルクメニスタンではいくつもの大規模プラントが実現した。
  - ①ガラボガズのアンモニア・尿素肥料プラント
  - ②(バルカン州)キヤンリイのポリマープラント
  - ③(アハル州)オヴァダン・デペのGTGプラント
  - ④(レバプ州)チャルジョウのガスタービン火力発電所
- ・ コマツ建設機械の供給プロジェクト、トヨタ自動車の供給プロジェクトも実現されている。
- ・ これらすべてのプロジェクトに対して、経済産業省、国際協力銀行（JBIC）、日本貿易保険（NEXI）など日本政府からのご協力、ご支援をいただいたことに感謝する。

#### ●経済の優先分野、さらなる協力のための提案

- ・ トルクメニスタン経済の優先的分野として、①再生可能エネルギーを含むエネルギー、②輸送・物流、③ハイテクで環境に優しい生産、④水資源・インフラ施設の近代化、⑤専門家の育成を強調したい。
- ・ 長期的な交流を行うことを踏まえ、日本企業とのさらなる協力のため、いくつかの分野における以下の提案をしたい。
  - ① トルクメニスタン市場において、機械製造、エレクトロニクス、化学産業などの分野において日本の技術と製品の普及を促進する
  - ② 節水、浄水、廃棄物管理、グリーンエネルギー、水素エネルギー分野における日本の先進的な技術を導入する
  - ③ 日本の中小企業をトルクメニスタンに誘致し、日本にトルクメニスタン企業を誘致する可能性を検討し、実現する



ビジネスミーティングの様子

以上